

菌接種・土壌改良による 放射性セシウムが 植物への移行に及ぼす影響

福島県二本松市の汚染土壌を用いて、ポット試験・圃場試験で¹³⁷Cs除去における植物・微生物相互作用と黒麹菌ベースの土壌改良作用の有効性を調査しました。
実験の主要な結果を解説し、生物的な技術を用いて除染後農地での地力回復、農産物生産の営農再開について考えます。



日時

2024年10月29日(火) 15:00~15:50

会場

福島大学 食農学類研究棟1階 みらいホール

講師

福島大学 食農学類 チディディ サレム 研究員



プロフィール

1980年チュニジア(ガフサ)生まれ。チュニス・エルマナール大学を修了後、2011年に東京農工大学にて博士号(農学)を取得。2012年、東京農工大学研究員へ着任し、福島県二本松市で、環境微生物学の手法を用いて、作物への放射性セシウムの吸収動態に関する研究に従事。2024年8月に福島大学食農学類研究員に着任。復興知事業にかかる研究を中心に従事。

参加方法

参加費無料・申込不要

※会場・オンライン(Zoom) 同時開催です。

- ① 会場参加 : 会場へ直接お越しください。
- ② Zoom参加 : 下記ID、パスコードよりご参加ください。



Zoom参加は
こちらから

ミーティング ID 939 4818 3348
パスコード F84MVK

お問い合わせ

福島大学 復興知事業 事務室

【TEL】 024-503-2148
【Mail】 fukushima-u@fukkouchi.com
【HP】 <https://fukkouchi.com>



(復興知HP)